

創造・参加・実践
No.726

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s

JR西労組 WEST UNION

西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西 阪 急 ビ ル 9 階
TEL06-6375-9869代 JR071-7155代
(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成
編集責任者 尾崎 裕介

第35回定期中央本部大会開催 ～安全を基礎に絆を強め、未来を切り拓こう!～

JR西労組運動をけん引した 本田副委員長、白壁副委員長が退任

JR西労組は、7月19日(水)から21日(金)にかけて、金沢地方本部準備のもと富山国際会議場において、第35回定期中央本部大会を開催した。大会は、2019年の第31回大会ぶりに3日間開催とし、代議員、執行部、準備地本、傍聴者をあわせて約400名が集まった他、連合富山の浜守会長、富山県の新田知事、JR連合国会議員懇談会副会長の泉議員、JR西労組議員団所属議員、友誼団体など約30名の来賓を迎えた。

冒頭、主催者を代表して上村中央執行委員長が挨拶を行い、コロナ禍の3年半、不安と不満を抱えながらも公共交通機関、医療機関としての使命を果たし続けた組合員に対して敬意と感謝を述べ、本大会に課された主要課題5点について提起を行った。

その後、来賓として連合富山の浜守会長、富山県の新田知事、富山市藤井市長、富山県交運協の石橋議長、JR連合国会議員懇談会の泉副会長、JR西労組議員団会議長の中田米子市議会議長、交運共済の松岡理事長、JR西日本連合R西日本連合の福田副議長、JR連合荻山会長から祝辞を受けるとともに、三日月滋賀県知事から激励のビデオメッセージが届けられた。議事では、福本企画部長による経過報告、羽野書記長による運動方針(案)の提起の後、各地本・総支部・新幹線協議会、青年女性委員会の代議員15名から、安全の確立、労働協約、2024春闘一時金の獲得、業務課題と人材の確保、組織の充実強化、政策課題と政治、共済活動の推進、運動の継承と次代の役員育成などについて発言があり、本部方針を補強した。2日目は、小委員会を開催し、第1小委員会組織財政(政)では36名、第2小委員会(安全業務)では41名の委員から熱気あふれる発言があった。今年度は人事改選の大会であり、役員改選では、長年JR西労組運動を牽引してきた本田副委員長、白壁副委員長が退任し、上村委員長をはじめとする14名の新体制が発足した。

沖青青年女性委員長が大会宣言を高らかに読み上げ、最後に上村中央執行委員長の力強い団結カンパニーで大会を締めくくった。また、大会初日にはJR西日本長谷川社長が訪れ、JR西労組組合員に向けて、コロナ禍を耐え抜いてきたことと日々の業務の奮闘に対する感謝と激励の挨拶を受けた。準備に多大なる()尽力をいただいた金沢地本の皆様、心から感謝を申し上げます。



中央本部大会会場



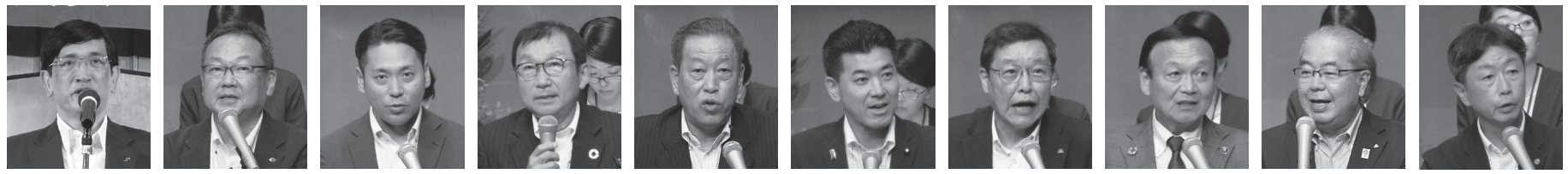
議長団に選出された新代表議員[金沢地本(左)]と北村代議員[京都地本(右)]



上村中央執行委員長の団結カンパニー



退任された役員の皆様



JR西日本長谷川社長 JR連合荻山会長 JR西日本連合福田副議長 交運共済松岡理事長 JR西労組議員団会議中田議長 JR連合国会議員懇談会泉副会長 富山県交運協石橋議長 富山市藤井市長 富山県新田知事 連合富山浜守会長

Table with columns: 役職名, 氏名, 出身地本, 年齢, 専・非, 新・再. Lists the 35th regular meeting election results for various roles like Executive Committee, Secretary, etc.

Table with columns: 役職名, 氏名, 出身地本, 年齢, 専・非. Lists the names and details of retiring members.

上村中央執行委員長挨拶(要旨)
組合員の日々のご精励に敬意を表し、JR西労組運動に対するご理解・ご協力に感謝します。
難局を完全に乗り越えたとは言えない状況に、これを承知はしていますが、9割まで戻ったと利用とグループを挙げた構造改革により、JR西日本グループの反転攻勢の舞台は整いました。まずは短期の多客輸送を完了させ、以降、上昇気流に乗り、組合員一丸となって未来を切り拓く第3歩となる大会にしようではありませんか。
以下、安全を基礎に、主要課題5点について提起します。
1. 世界一安全な鉄道会社をめざして
福知山線列車事故から18年が経過し、4月から、JR西日本グループ鉄道安全考査計画2022「がスタートした。新計画でも「お客様が死傷する列車事故発生させない」「死亡に至る鉄道労災発生させない」を目標に掲げています。自分の命と仲間を守る、お客様の命を守ることを徹底することを確認したいと思えます。
今一度、安全を守り手帳を口頭から活用いただきながら、(A)当たり前のことを、(B)馬鹿にせず、(C)ちゃんとやるABC運動を全ての職場で取り組むことを要請します。「世界一安全な鉄道会社」を胸を張れるJR西日本を皆で目指してまいります。
また、多くの組合員が、福知山線列車事故を経験していない、あるいは事故から18年経過していることを前提に、事故を知って、教訓化する取り組みを、今後も強化していきます。
2. 魅力あるJR西日本グループを取り戻す
「コロナ禍で、私たちの社会や生活さらには働き方が大きく変容しました。目まぐるしい社会変化に対応し、JR産業、JR西日本グループの魅力が高め、結果として離職に歯止めをかけ、優秀な人材を確保する。人材確保および離職防止に向けた提言(仮称)を策定すべく、議論を重ねてきました。
本大会においては、その骨子を提起し、提言を行っていくこととします。何でも言い合える、心理的安全性の高い職場は働きがい、満ち、鉄道の安全性にも寄与すると確信しています。すべての社員が誇りを持ってJR西日本パジャマを着ることのできる魅力ある会社にしていきます。
3. 労働協約改訂一時金、2024春闘について
今年度の協約改訂については、将来に亘って働きがいを持ち、安心して働けることのできる、安心して胸を張れるJR西日本を皆で目指してまいります。
また、コロナ禍では、集中的な議論を進めていくとします。
2023春闘の最終回答時に言及した「一時金について、要求時期を判断し、しっかりと求め、皆さんの負担に心える、時金を勝ち取ってほしい」と思っています。
2024春闘生活闘争については、通期見通しの利益を確実に確保し、中期的視点に立った人材の投資、その成果配分を継続して求めていきたいと考えています。
4. 組合員間の絆を強める活動を再開する
長引くコロナ禍により、「コミュニティ」を図る機会が失われ、職場の先輩、同僚との繋がりが、絆が弱まっています。JR西労組は、今日まで懸命に自治体訪問活動や地方議会を通じて要請などを継続し、地域活性化、持続可能な地域公共交通の実現に向けた取り組みを進めてきました。地域共生をめざし、地域共生支社を構築しているJR西日本に対して、責任ある議論をあらためて求めるとともに、JR西労組として、これまで以上に、JR連合、地方議員団、さらには地方連合会等との連携を深め、これからの政策制度実現のための政治活動の強化を要請します。
最後に、「コロナ禍を乗り越えた、私たちJR西労組の団結力は本物です。その力を原動力に、未来を切り拓いていくことはありませぬか。」